

●VSP(ボランティア・サポート・プログラム)による道路美化活動、花壇等への植栽活動を実施

国土交通省のVSP協定に基づいて、金沢河川国道事務所とVSP協定を締結している全28団体のうち6団体が、道路美化活動や花壇等への植栽活動を実施しました。

VSPとは、「道路を慈しみ、住んでいるところをきれいにしたいという自然な気持ちを、形あるものにして」と考え出されたものであり、「みち」をきれいにしようという活動から始まり、地域コミュニティの活性化が期待できます。

①道路美化活動の実施

金沢市の「二日市を綺麗にする会」、「草刈り芸術座」、「金沢北の玄関口をきれいにする会」の計約300名が道路美化活動を実施しました。

この3団体は除草などの道路美化活動を毎年2回(夏・秋)実施しています。参加された方からは「普段利用しているところがきれいになってうれしい」との声が上がりました。

団体名	二日市を綺麗にする会	草刈り芸術座	金沢北の玄関口をきれいにする会
作業日	6月2日(日)	6月2日(日)、9日(日)	6月23日(日)
作業場所	国道8号 金沢市二日市町地先側道	国道159号 金沢東部環状道路 金沢市今町・梅田町・岸川町地先	国道159号 金沢東部環状道路 金沢市河原町地先側道
作業内容	国道8号側道の除草	今町IC、梅田IC内の除草	金沢森本IC内の除草



【二日市を綺麗にする会】



【草刈り芸術座】



【金沢北の玄関口をきれいにする会】

関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h31/p0531_1.pdf

②植栽活動の実施

白山市の「花の会・つるぎ」、金沢市の「金沢中心商店街まちづくり協議会」と「武蔵活性化協議会」の計約280名が花壇、植栽帯、プランターに植栽活動を実施しました。

団体名	花の会・つるぎ	金沢中心商店街まちづくり協議会	武蔵活性化協議会
作業日	6月2日(日)	6月11日(火)	6月21日(金)
作業場所	白山市七原町交差点から 同市井口町北地先 約600m	香林坊二丁目交差点から 犀川大橋南詰交差点 約820m	武蔵交差点から上堤町交差点 約280m
作業内容	サルビア4,000本、 ブルーサルビア4,000本、 カンナ1,000球等を定植	夏の花(ペコニア、サルビア、 ポーチュラカ、ニチニチソウ、 マリーゴールド) 約1,000本を定植	夏の花(ペゴニア、サルビア、 インパチェンス、マリーゴールド、 メランポジウム等) 約1,500本を定植



【花の会・つるぎ】



【金沢中心商店街まちづくり協議会】



【武蔵活性化協議会】

関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h31/p0530_1.pdf
http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h31/p0610_1.pdf

●金沢工業大学の学生がトンネル工事を体感

6月4日(火)、国道159号金沢東部環状道路「月浦トンネル(Ⅱ期線)」の工事現場を、金沢工業大学の学生約100名が見学しました。

学生は、現場の担当技術者から、トンネル坑内で掘削状況等の説明や、CIMシムを活用し3次元モデルを用いた最新のトンネル掘削管理についての説明を受け、トンネル工事を体感しました。

現場の担当技術者も、学生からの率直な質問をうけ、専門用語でなくわかりやすい説明を心がけることで自身の勉強になり、また、大きな機械や、トンネルの掘削面の状況を見て驚く学生の姿を見て、自分が携わっている仕事の重要性を再認識しました。

担当者は少しでもトンネル工事について学生に理解していただけるよう準備していましたが、学生からは高度な質問もあり、回答に困る場面もありました。

建設業界は高齢化が進み次世代の技術者が不足しています。今回の見学会を通じ建設業の大きさや魅力を少しでも感じて頂けたら幸いです。

今後も、色々な方々にトンネル工事を体感して頂きたく、工夫を凝らした見学会を実施します。



【トンネルを背景に記念撮影】



【トンネル坑内を体感】



【最新の掘削管理(CIM)の説明】

関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h31/p0603_1.pdf

●違法トラックの取締りを実施

金沢河川国道事務所では、過積載車両や大型車両の違法運行に伴う道路・橋梁の損傷や、重大事故を未然に防止する事を目的として、石川県警察本部、中日本高速道路(株)金沢支社の3者合同による違法トラックの取締りを定期的実施しています。

6月11日(火)は、加賀市熊坂町の国道8号加賀特殊車両指導取締基地及び北陸自動車道加賀インターで実施しました。加賀特殊車両指導取締基地では5台取締を実施した結果、違反は0台でした。

今後も道路保全、重大事故防止のため、警察等と連携した取り組みを継続していきます。



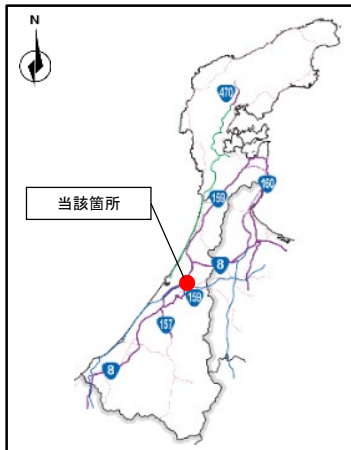
【加賀特殊車両指導取締基地での取締の様子】

関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h31/p0612_2.pdf

●国道159号金沢東部環状道路（山側環状）^{うめだ}梅田ICで逆走・誤進入防止対策を実施

国道159号金沢東部環状道路（山側環状）の今町JCT^{いままち}～梅田IC間において、今春、梅田ICを誤って進入したと思われる逆走車の目撃情報が2件あったため、5月17日（金）に、道路管理者や警察等の関係機関による現地協議を開催し、今後の対策について検討しました。

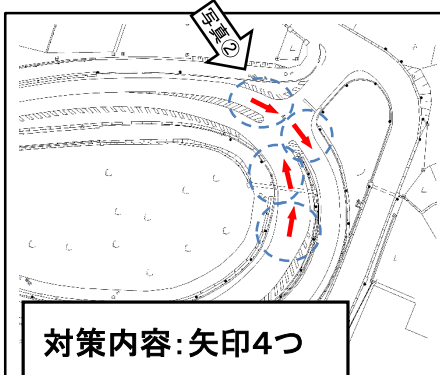
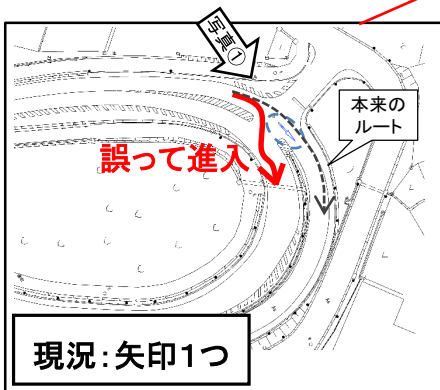
この検討を踏まえ、6月14日（金）に逆走・誤進入防止対策として梅田IC出入り口部に路面標示（矢印）を追加設置しました。



【広域図】



【位置図（逆走イメージ）】



【対策概要】

「石川のみちづくり～国土交通金沢～」

おおや

●輪島市立大屋小学校の児童が輪島道路工事現場を見学

能越自動車道輪島道路は、「災害時の緊急輸送路の確保」「第3次緊急医療施設へのアクセス向上」「地域経済の活性化」等を目的とした延長11.5kmの自動車専用道路です。

金沢河川国道事務所では、平成29年度より、輪島道路への理解と愛着などをもってもらうことを目的とし、輪島市役所の協力のもと、地元の小学生を対象に工事現場見学会を開催しています。

今回で5校目となる輪島市立大屋小学校6年生の児童21名を6月17日(月)に招き、輪島道路の役割などを学び、完成間近の小泉高架橋の橋面に児童の将来の夢などを描いてもらいました。



【将来の夢などを描く児童たち】



【集合写真】

関連URL：

輪島道路 工事ニュース http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/paper/nouetsudouwajima.html

北陸地域における情報化施工 <http://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/jyouhouka/>

記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h31/p0614_1.pdf

●溝橋の定期点検実務講習会・点検支援技術活用講習会を開催

6月20日(木)、国・地方公共団体職員、建設コンサルタント技術者を対象にした、溝橋の定期点検実務講習会と点検支援技術活用講習会を開催しました。

石川県庁にて座学を行った後、国道8号金沢市磯部町の溝橋において溝橋点検の実務講習、今町高架橋において新技術を活用した点検の講習を行いました。

溝橋点検の実務講習では、講師から説明を受けたあと、実際に参加者がハンマーを使って溝橋をたたいて打音検査を実施しました。新技術を活用した点検の講習では、高い場所等で人が直接点検しにくい場所について、ドローンを使った点検方法を説明しました。



【打音検査の状況】



【ドローンを活用した点検状況】

■点検支援新技術を活用した北陸地方整備局の橋梁・シェッド定期点検状況

【北陸技術事務所 YouTube】 <https://www.youtube.com/user/HOKUGImlit>

関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h31/p0613_1.pdf

●大学生と協働で通学路の除草を実施

6月25日(火)、石川県立大学の学生ボランティアや教職員と金沢河川国道事務所が協働で、通学路の安全確保、学校周辺の美化を目的に、国道157号野々市市末松～白山市木津町の側道の除草作業を実施しました。この取り組みは、平成23年度より実施しており、今回で8回目となります。

この日は、石川県立大学から学生・教職員合わせて約40名、当事務所から約30名が参加し、側道に生い茂った雑草を取り除きました。



【除草作業の様子】

関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h31/p0621_1.pdf

●10年にわたる金沢の自転車施策が全建賞を受賞

金沢の自転車施策は、人中心の交通体系を基本理念として、学識者、道路管理者(国・県・市)、警察が一体となった「金沢自転車ネットワーク協議会」を中心に様々な自転車施策を展開してきました。

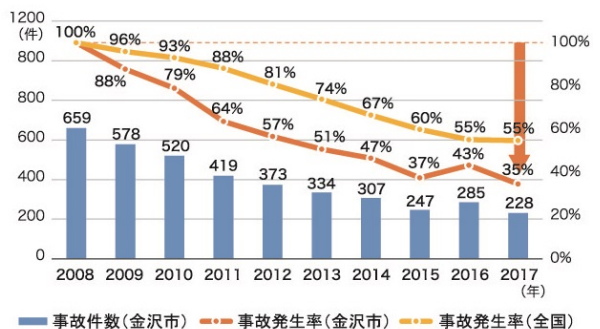
自転車通行空間整備や自転車のルール・マナー周知の取り組みなど、ハード・ソフト両面から実施した結果、10年間で自転車通行空間の延長は約33kmとなり、自転車関連事故が65%削減、車道左側通行の意識も約44ポイント増加するなど、大きな効果を発揮しています。

6月25日(火)、この10年間の取組が評価され、全建賞を受賞しました。全建賞は、我が国の良質な社会資本整備の推進と建設技術の発展を促進するために設けられたもので、日本の社会経済活動を支える根幹的なインフラ整備や、その時々々の国民ニーズに沿った幾多の取り組みが受賞しています。



【表彰式】

▼金沢市内における自転車関連事故の推移



【金沢市内における自転車関連事故の推移】

関連URL：金沢自転車ネットワーク協議会

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/douro/bicycle.co/index.html>

★お問い合わせ先★

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 副所長 尾崎 誠

電話 076-264-8800 (代表) FAX 076-233-9631

金沢河川国道事務所ホームページ

URL：<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>

金沢河川国道事務所モバイルサイト (携帯サイト)

URL：<http://roadinfo.kanazawa-mlit.com/k/>